

1. 別表

ディプロマ・ポリシー (DP) に掲げる 教育目標	アセスメント・ポリシーに掲げる 学習成果把握方法
DP1. 人間の“こころ”や“からだ”、日々変化する“社会”や“環境”などのテーマにおいて、私たち自身、そして私たちの生きる社会を深く理解する知識をもつ	2.② IR コンソーシアム調査 (特に A、C、E) 1.①・② 単位修得状況/GPA
DP2. 現代の私たちが抱える課題をリアルな視点で見つめ、分析し、考えていく思考力と判断力をもつ	2.② IR コンソーシアム調査 (特に B、D、J、K、P、S) 1.①・② 単位修得状況/GPA 1.③ フィールドワーク (実習等含む) 参加率
DP3. 意欲的な学びと研究を通じて、これからの時代を生きる知識と能力を踏まえ、人類が創造してきた文化をさらに発展させるような表現力とより良き社会を形成するための実行力をもつ	2.② IR コンソーシアム調査 (特に F、G、H、I、L、M、N、O、Q、R) 1.③ インターンシップ参加率
DP4. 自らの独自のテーマについて卒業論文・卒業研究を提出し、それを発表して、1～3の能力を総合的に表現することができる	2.① 卒業論文・卒業研究及び発表会 2.① 演習科目への取り組み状況 2.① 卒業論文・卒業研究の提出時におけるルーブリック評価

注. IR コンソーシアム調査の下位指標は以下のとおりである。

- A. 一般的な教養 B. 分析力や問題解決能力 C. 専門分野や学科の知識
D. 批判的に考える能力 E. 異文化の人々に関する知識 F. リーダーシップの能力
G. 人間関係を構築する能力 H. 他の人と協力して物事を遂行する能力
I. 異文化の人々と協力する能力 J. 地域社会が直面する問題を解決する能力
K. 国民が直面する問題を理解する能力 L. 文章表現の能力
M. 外国語の運用能力 N. コミュニケーションの能力 O. プレゼンテーションの能力
P. 数理的な能力 Q. コンピュータの操作能力 R. 時間を効果的に利用する能力
S. グローバルな問題の理解 T. 卒業後に就職するための準備の度合い

2. ルーブリック評価表

学位授与方針 (ディプロマポリシー)		秀	優	良	可	不可
D1	人間の“こころ”や“からだ”，日々変化する“社会”や“環境”などのテーマにおいて，私たち自身，そして私たちの生きる社会を深く理解する知識をもつ人。	左記のテーマにおいて，私たち自身や私たちの生きる社会を深く理解するための知識を幅広くかつ十全に有している。	左記のテーマにおいて，私たち自身や私たちの生きる社会を深く理解する知識を十分に有している。	左記のテーマにおいて，私たち自身や私たちの生きる社会を深く理解するための知識をある程度有している。	左記のテーマにおいて，私たち自身や私たちの生きる社会を理解するために必要な最低限度の知識は有している。	左記のテーマにおいて，私たち自身や私たちの生きる社会を理解するための知識が十分に備わっていない。
D2	現代の私たちが抱える課題をリアルな視点で見つめ，分析し，考えていく思考力と判断力をもつ人。	現代の私たちが抱える課題に関して秀でた思考力や判断力が備わっている。	現代の私たちが抱える課題に関して左記のような思考力や判断力が十分に備わっている。	現代の私たちが抱える課題に関して左記のような思考力や判断力がある程度は備わっている。	現代の私たちが抱える課題に関して左記のような思考力や判断力が最低限備わっている。	現代の私たちが抱える課題に関して左記のような思考力や判断力が備わっていない。
D3	意欲的な学びと研究を通じて，これからの時代を生きる知識と能力を踏まえて，人類が創造してきた文化をさらに発展させるような表現力とより良き社会を形成するための実行力をもつ人。	学びや研究に極めて意欲的に取り組み，左記のような表現力や実行力も秀でている。	学びや研究に特に意欲的に取り組み，左記のような表現力や実行力も十分に備わっている。	学びや研究に意欲的に取り組み，左記のような表現力や実行力もある程度備わっている。	学びや研究にある程度は意欲的に取り組み，先のような表現力や実行力も最低限備わっている。	学びや研究に意欲的に取り組めていない，あるいは左記のような表現力や実行力が備わっていない。